

「正しいことを伝える大切さ」

13日、その日は菊鹿中学校の文化祭です。今年のスローガンは、「あなたへ～過去と未来をつなぐ今～」に決まりました。いよいよ私も3回目の文化祭を迎えることになりました。

3年生はハンセン病学習で学んだことを劇にして発表します。私は、監督という立場になりました。シナリオはみんなで考えて、やっと仕上がりました。劇中で使う映像の撮影も何度もやって、舞台の練習も全員一丸となって、“はまって”つくっていきます。

この劇に私がこめた思いは、「正しいことを、どんな状況に置かれても、はっきり伝えることが大切」ということです。差別や偏見は他人事ではありません。いつも、自分と隣り合わせにあると思います。

大勢の人が一人の人を差別すると、いけないと思っている人も、その大勢に隠れてしまう時があります。でも、思っているだけでは何も変わりません。相手が大勢だったら、なおさら、はっきりと伝えてください。気持ちは、小さな勇気で変えられるのです。